

東北自治研修所「第199回中堅職員研修」への講師派遣について

【開催日】 平成28年12月2日(金)

【場 所】 東北自治研修所(宮城県富谷市)

【参加者】 東北6県 県・市町村職員28名

【説明者】 内閣府地方分権改革推進室

参事官 穴戸 邦久

調査員 尾崎 弘康

調査員 永田 有沙



【概 要】

○穴戸参事官から、地方分権改革の経緯と概要について説明を行った。地方分権一括法の施行後は、自治体の独自性を活かした政策展開が可能であり、自治体職員が自らの発想と創意工夫により、課題解決を図る意欲を持って取り組むことの重要性を説明した。また、提案募集方式についても説明を行い、東北地方の自治体からの提案を促した。

○尾崎調査員、永田調査員から、具体的な提案のポイントについて事例を交えて説明を行った。

○受講者からは、「自治体派遣の調査員が相談にのってくれるので、提案してみたいと思った。」、「提案募集方式を知り、自らの業務を振り返る機会となった。」、「実現には、相当の準備が必要だと感じた。」等の感想があった。

